

尾鷲陸上少年団

みんなで楽しむことで、人と人とのつながりを育む

少年団の活動を通じて、陸上競技の結果を上げさせるのはもちろんですが、団体行動であったり、挨拶や協調性など人間性の部分を培って欲しいと願う団長の中村さん。尾鷲市の各学校から集まる子どもたちも学校の中村さんを越えて指導を受ける表情は時折笑顔がこぼれていました。これからの大会に向けて、井戸井くんと野田さんから意気込みをそして監督・コーチから少年団のことについてお聞きしました。

Q1 いま、どういうことに取り組んでいますか。

A1 (二人とも)今、二人とも100m 14秒台なので、13秒台に入るように頑張っています。

(井戸井くん)スタートが苦手なので、そこを練習しています。あと美味し

国駅伝に選ばれているので、1500mでは5分を切ることを目指しています。

(野田さん)スタートの反応がまだ遅いのと、そのあとゴールに向かうまでのタイムも上げたいので、最初から最後まで全力を頑張りたいです。

Q2 この少年団で楽しいことを教えてください。

A2 (井戸井くん)レクリエーションが楽しいです。

(野田さん)皆、笑顔で協力し合って、分からないことを教えてくれるところが楽しいです。



野田 有晃さん (15歳 08)

井戸井 真也さん (15歳 02)

Q3 どういうことを学んでもらいたいですか？

A3 (垣内監督)陸上は個人の競技のようですが、みんなを声掛けて、乗り切ってもらえる力をつけてもらいたいと思います。

Q4 親御さんたちに伝えたいことを教えてください。

A4 (垣内監督)温かい目で持ってサポートしてもらいたいです。

(中村団長)のびのびとやってもらいたいです。そこで一生懸命子供から今日こんな練習やったよとか、どんな会話をしてほしいです。そこで、ちょっとしたことでも結果がということをお願いしたら結構いいです。あと、いろいろチャレンジする機会があれば積極的にチャレンジさせて欲しいです。



(左) 団長 中村 賢太さん
(右) 監督 垣内 真也さん

フリモAR アプリをダウンロード! 写真にかざすと生徒さんのコメントが聞けます。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!